

時短・業務改善 実際の導入事例

熊谷総合病院様

のケース

手術室師長
村社真紀様

CASE STUDY

MONITAROによる業務スリム化 Before／After

Before - 電話対応に追われるスタッフ

整形外科の業者が立会うオンコール手術では、ほぼ全例で「〇〇先生のオペの入室時間を教えてください」という電話が入っていました。手術時間の調整はリーダーが行っているため、スタッフは電話番号を控えて確認に行き、未定の場合は再度折り返すなど、**伝達に多くの工数を要していました。**

After - 業者からの外線電話がなくなった

MONITARO導入後は、業者が前日までに立会い内容と医師名を自己申告する仕組みがあるため、朝の時点で誰がどの手術に入るかを把握できるようになりました。入室時間が大きくずれそうな場合は、早い段階でリーダーからチャット連絡していますので、**外線電話での非効率な対応が必要なくなりました。**

その他の効果

業者の入退室はチェックイン機能により自動で記録され、後から履歴を確認することができます。主に出入している業者はほぼMONITAROへの登録が完了しており、**感染発生時には対象者を迅速に特定できるため安心感につながっています。**